

2023年4月_中古車市場の動向

1. オークション市場の動向

(1) 出品台数

- ・4月のオークション出品台数は、昨年同月の1.5割程度の増加となり、7ヵ月連続でプラスとなった。
- ・昨年10月以降7ヶ月連続で前年比プラスとなっている。小売り販売の動きがまだまだ弱く、オークション会場の成約率を見ても低調に推移している。各会場とも再出品が多いという傾向が継続している。

(2) 落札台数

- ・4月のAA落札は、前年同月の実績に何とか届き、3月から一転してプラスに戻った。
- ・小売り販売、特に大手販売店の動きが鈍くセリ参加は全体的に鈍い状況が継続している。今後の小売販売の動向に注視したい。

(3) AA ワンプラ落札台数

- ・4月のAAワンプラ落札は、前年同月の1.5割以上の増加となり、11月から6ヶ月連続でのプラスとなった。
- ・オークション会場の成約率の低迷による出品台数の増加が大きな要因と思われるが、中古車販売の仕入れスタイルがワンプラ化（セリではなくワンプライスで）していることも新たなトレンドであろう。

2. 共有在庫市場の動向

(1) AS ワンプラ（共有在庫）出品台数

- ・4月末現在の出品台数は3月末とほぼ同様の実績となり、3ヵ月振りの増加となった先月に引き続き増加傾向となっている。
- ・5月に入り出品台数は維持しているが小売り販売の不振の影響が考えられる。

(2) AS ワンプラ（共有在庫）落札台数

- ・4月のASワンプラ落札は、小売り市場の低迷の中、6ヵ月振りに前年並みの実績となった3月に引き続き前年同様の実績となった。
- ・AA会場の成約率が上がってこない中、ASワンプラも明らかな流通増とはなっていない。5月連休明けに小売り販売が少々動いてきている感はあるが、まだまだ小売市場の動向から目が離せない。